

40歳、無所属。子どもにツケをまわさない！

県政に関するご提言から身近なご相談まで、ご意見をお寄せください！

本人 すがわら文仁

発行 菅原文仁(無所属県議会議員戸田支部)
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL/FAX 048-432-3585
HP sugawarafumihito.com
Email mail@sugawarafumihito.com



「すがわらレポート」は、定期的な発行する気軽な県政報告です。

菅原文仁 プロフィール 【略歴】昭和50年7月30日生まれ(40歳) 戸田市立美谷本小学校・美笹中学校卒 埼玉県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒(教員免許取得) 明治大学大学院修了(公共政策学修士) 元社会体育会代表 【政治歴】平成17年~23年 戸田市議会議員(2期) 平成23年 県議会議員に初当選 平成27年再選(2期目) 【所属】会派「無所属県民会議」総務会長、議会運営委員、文教委員、自然再生・循環社会対策特別委員、決算特別委員 青年地方議員の会副会長 埼玉県体操協会副会長 埼玉坂本龍馬会幹事 日本自治体危機管理学会会員 【趣味】読書 史跡巡り B級グルメ探し 【特技】バク転 のび太並みの早寝 【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」 【家族】父・母・妻・娘(2歳)・息子(1歳)・犬1匹 【夢】努力した者が報われる社会を実現すること 【自宅】戸田市美女木8-21-6

ご挨拶

空は深く澄み渡り、爽やかな季節となりました。皆様におかれましては健やかに過ごしのことと存じます。

今定例会では、6月に私たちが提案をして継続審査となった、議員の「費用弁償」の支給を“定額払い”から“実費払い”に改める条例案が、単独過半数を占める自民党県議団の反対により否決されました。

この議案は最終的に私たち無所属県民会議の他、公明党、民主党、共産党、改革の会(無所属)が賛同するものとなり、まさに“あと一歩”というところまで来ていましたが、悔しくもいったん水の泡となりました。

今回の否決もそうですが、政治の場面において、「これが正しい」と思って正論を訴えても、「大なる壁」に阻まれることはたくさんあります。

私はそんなとき、マックス・ヴェーバーの「職業としての政治」を読み返します。ヴェーバーは言います。「政治とは、情熱と判断力の二つを駆使しながら、堅い板に力を込めて、じわっじわっと穴をくり貫いていく作業である」と。そして、どんな事態に直面しても「それにもかかわらず！」と言い切る自信がある人間が政治への天職を持つと。

政治家という職業を志す者の一人として、改めてこの言葉をかみしめつつ、県民のために必要な提案を何度も、何度も、飽きずに懲りずに挑戦し続けてまいります。

引き続き、より身近で信頼できる県政実現のため、精一杯頑張っておりますので、皆様のご指導、ご声援をよろしくお願いいたします。

菅原文仁

すがわら文仁 最新ニュース

①台風被害に対する緊急要望！



大嶋県議 岡県議 岩崎副知事

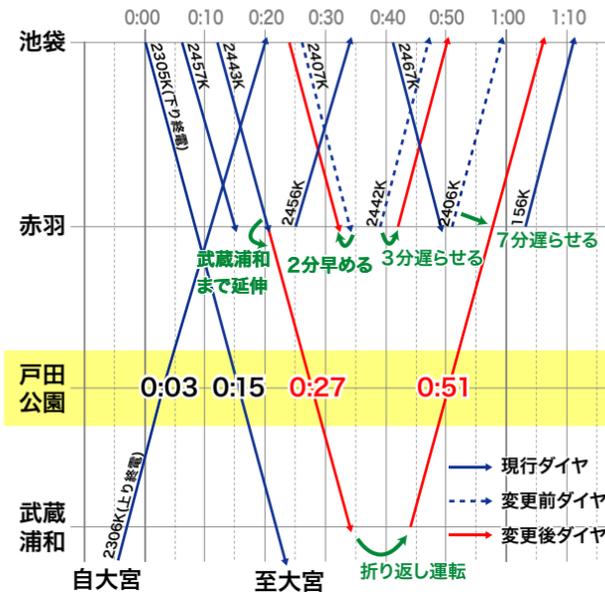
9月9日から11日の台風17号・18号による記録的豪雨により、東日本各地で広範囲かつ甚大な浸水被害が発生し、県内においても県東南部地域を中心に大規模な被害がありました。県の災害対策を掌る岩崎副知事に対し、一刻も早い被災者の生活再建と地域の復旧対応や、排水施設の再点検、財源確保等の対策を講じるよう、緊急要望書を提出しました。

②埼京線の利便性向上(菅原私案)をJR東日本大宮支社に提案！

今年9月30日で開業30周年を迎えた埼京線は、戸田市の発展を支えてきた半面、終電時間延長や混雑緩和といった課題があり、これまでも数多くの諸先輩方が利便性向上に向けて取り組んできました。もちろん私も地元の最重要事項として、県議に初当選してからも毎年、知事に対して要望を行い、知事からJRの要望などに繋げてまいりました。結果として、今年度からデータタイムにおける各駅停車の増発などが実現し、一定程度の成果はありましたが、赤羽～大宮間の「終電時間の繰り下げ」については、残念ながらこれまで一度として実現しておりません。JR東日本は、これまで終電延長ができない理由を、保守点検作業を行う時間の確保や、車両の乗務員の体制の見直しが必要と説明してきました。

「終電を繰り下げしてほしい」と毎年毎年要望していくことは大切です。しかし私は、これまで一歩どころか半歩も動かなかった現実から、もっと具体的で検討に値する提案をすべきではないかと思い、この度10月1日に、JR東日本大宮支社総務部企画室に対して、これまでとは異なる具体的提案「菅原私案」を提出させていただきました。

<菅原私案の概要>



現在の終電以降の赤羽～池袋間4往復の列車の内、2443Kを武蔵浦和まで延伸運転し、折り返すもの。これにより終電時間は下り12分、上り48分程度の繰り下げが可能となります。

この案は、新たに車両を増やさず、乗務員の体制も最小限度の変更で済むという、終電を延長させる上で最も実現可能性が高い方法といえます。

現在はこの私案に対する応答を待っているところですが、開業30周年を迎えた今年こそが、大幅なダイヤ改善の契機になるのではないかと期待しています。

当然ですが、鉄道ダイヤは事業者が決定するものであり、県はもちろん国でさえ、ダイヤに対する権限を持っておらず、できることは「要望」のみです。しかし、埼京線の利便性向上は、利用者のニーズであり、埼京線沿線の住民全体の生活に関わる重大な政治課題で、決して荒唐無稽のものではありません。粘り強く訴え続ければ、必ずや終電延長は実現するものと私は確信しています。

本人の活動写真



8月2日(さいたま市) 清水さいたま市長と知事選挙の応援弁士としてマイクを握り締める！



8月22日(市内) 自治会の夏祭りにてご挨拶！



8月26日(福岡市) 九州大学にて学校管理職マネジメントを学ぶ！



9月1日(市内) 議会報告も定期的につづけます！



9月4日(幸手市) 会派で県が造成する産業団地の現地視察！



9月14日(常総市) 災害ボランティアとして被災地に！



9月26日(市内) 笹目川まるごと再生プロジェクト現場披露式典に出席！

統計からみる	総人口(人)	人口増減率(増)	平均年齢(歳)	市町村所得(万円)	生活保護率(%)	納税率(%)	市町村道舗装率(%)	下水道普及率(%)	犯罪率(全県)	人身事故発生率(全県)
埼玉県	H27.9 7,253,362	2.2	44.5	278.5	1.3	93.5	69.6	78.6	11.7	4.6
戸田市(議会)	H27.9 134,371	1位 20.2	1位 39.7	1位 355.0	7位 1.6	14位 94.8	1位 99.0	13位 87.2	3位 16.4	11位 5.5

※総人口以外は「統計からみた埼玉県市町村のすがた2015」より引用

9月定例会報告（9月24日～10月15日）

▼知事提出議案の主な内容

知事提出の議案は14件あり、11議案が原案通り可決、1議案が修正可決（介護保険法施行条例の一部を改正する条例）、2議案が継続審査（平成26年度埼玉県一般会計及び特別会計決算の認定等）となりました。継続審査となった2議案は、私が所属する決算特別委員会で12月定例会まで審査します。

遠隔支援導入により胎児の救命率を向上！

賛成 埼玉県一般会計補正予算 **可決**

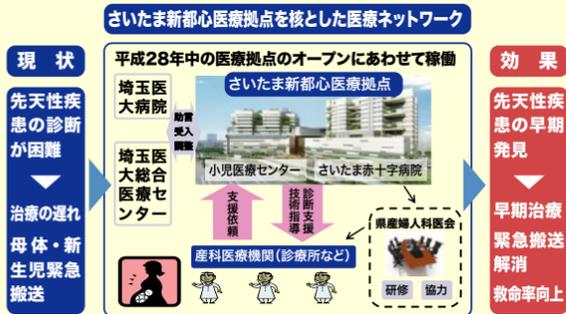
増額補正2号5億158万3千円

増額補正3号1億5,653万6千円

平成27年度一般会計予算の累計額

1兆8,290億5,075万4千円

■ 遠隔胎児診断支援システムの導入 8,076万7千円



平成28年中に開設するさいたま新都心医療拠点（新小児医療センター）に、県内の産科医療機関と胎児の超音波画像をネットで共有するシステムを構築し、専門医による診断相談によって胎児の先天性疾患を早期に発見して救命率を高める取り組み

▼議員提出議案の主な内容

議員提出の議案は6月の継続分（議員の費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案）を合わせて11件あり、10議案が可決（意見書6、決議2、議員派遣2）、1議案が否決されました。

前代未聞の県警官不祥事に決議！

決議・意見書

- 賛成 警察官の綱紀粛正等を求める決議 **可決**
- 賛成 台風17号・18号災害に関する見舞い決議 **可決**
- 賛成 水害対策の更なる推進を求める意見書 **可決**
- 賛成 地域医療提供体制の確保を求める意見書 **可決**
- 賛成 児童虐待相談等に対する体制強化を求める意見書 **可決**
- 賛成 消費者被害防止対策の強化を求める意見書 **可決**

県警は再発防止の徹底を！

先般、朝霞市で発生した本県の現職警察官による強盗殺人事件は言語道断、極めて深刻な犯罪であり、県民の警察に対する信頼は著しく失墜しました。また、熊谷市で6名が殺害された事件においては、一連の犯行の中で関係自治体との連携・対応が十分ではなかったのではないかと指摘がなされているところであり、事件の全容徹底解明が待たれるところですが、この重大犯罪から得た教訓を今後の警察活動に確実に生かさなければなりません。

ほとんどの警察官は、日々まじめに県民の安心安全に取り組んでいるところです。しかし今回のような事件は、治安の根底ともいえる住民との信頼、協力関係にも悪影響を及ぼすものであり、県警史上例を見ない危機的な状況といえます。この決議によって、改めて警察官という職務に課せられた県民の信頼の重みを再認識していただきたいと思います。



先延ばしから一転、数の力で黙殺？！

賛成 埼玉県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 **否決**

県民会議が提案した議員の費用弁償を定額支給から実費支給に改める条例改正案が否決されました。

【現在】定額支給方式		【改正案】実費支給方式	
自宅からの距離	支給額	種別（一例）	支給額
10 km以内	6,000円	鉄道賃	運賃分
10～50 km	8,100円	車賃（バス）	50円/1 km
50 km以上	10,200円	自家用自動車	18円/1 km

【2015年10月9日 読賣新聞】

費用弁償実費案 県議会委が否決

県議会総務委員生活委員会は8日、議員が議会に出席した際に交通費などとして支払われる「費用弁償」を、定額から実費に改める条例改正案を賛成少数で否決した。民主党・無所属の会、無所属県民会議など5会派が賛成したが、単独過半数を占める自民党が反対した。15日の本会議でも否決される見通し。

同委員会では、無所属県民会議の並本正年議員が全

県議会議事局によると、費用弁償は自宅から県議会までの距離に応じて1日6,000円～1万2,000円。全議員93人が本会議に出席すると、1日計12万8,000円だが、交通費の実費なら同11万5,000円になる。

「県民の生活に沿って、議員の活動は多岐に及ぶ。36道府県は定額や、定額に実費の交通費を加えて支給している」と反論した。

「10県の実費切り替えを望む」「県民の生活に沿って、議員の活動は多岐に及ぶ。36道府県は定額や、定額に実費の交通費を加えて支給している」と反論した。

説明なしに反対は無責任！

自民党県議団は今定例会の委員会において「議員の処遇についてはより多くの会派の賛同、協力が必要。これまでは自主的な協議機関で協議検討した」との反対理由を述べました。しかし事実として、自民以外のすべての会派（公明・民主・共産・県民・改革）が本案に賛成しており、「多くの会派の賛同と協力」との理由は、他のすべての会派が賛成している議案に対する反対の理由として成り立ちません。さらに本会議では反対理由を説明すべきでしたが討論もせずに沈黙を決め込む有様でした。

6月定例会で「限られた時間の中で結論を出すのは困難」との理由でたなざらしにしておいて、9月まで一度も委員会を招集せずに先延ばしした挙句、最後は数の力を使って黙殺。これでは筋が通らないですし、あまりにも無責任で県民に失礼です。

今回の採決では敗北を喫しましたが、最大会派以外の全ての会派がまとまることができました。これを機に議会改革に向けた包囲網をつくり、改革推進の歩調で会派間の連携を図っていききたいと思います。



▼その他の活動

来年度予算要望を上田知事に提出！



9月定例会最終日、会派として平成28年度の埼玉県の予算編成に関する要望書を上田知事に直接要望させていただきました。地元の戸田市内における要望24項目を含む342項目は、厳しい財政状況を鑑みて予算増額を求めるだけではない、持続可能な埼玉県政を見据えた提案となっています。 ※要望内容についてはHPをご覧ください。

本人の一行日記

8月（葉月）

- 1日 (市内) 笹目川の川あそび魚採りの会に参加
- 2日 (さいたま市) 県知事選挙の応援弁士
- 3日 (市内) 事務所にて用務
- 4日 (市内) 町会盆踊りに参加
- 5日 (市内) 町会盆踊りに参加
- 6日 (市内) 県知事選挙の応援弁士
- 7日 (市内) 町会盆踊りに参加
- 8日 (市内) 県知事選挙の応援弁士
- 9日 (朝霞市) 上田知事選挙事務所で開催立会い
- 11日 (県議会) 会派団会議に出席
- 12日 (県議会) 会派控室にて来客対応
- 14日 (市内) 事務所にて市民相談
- 15日 (都内) 靖国神社に参拝
- 18日 (横浜市) 体操競技全国大会に応援参加
- 19日 (市内) 議会レポートのポスティング
- 21日 (市内) 訪問市民相談
- 22日 (市内) ふるさと祭りの運営スタッフ
- 23日 (市内) ふるさと祭りの運営スタッフ
- 24日 (北九州市) 市立松本清張記念館の館運営の視察研修
- 25日 (伊万里市) 黒川小学校の図書館利用活性化策の視察研修
- 26日 (福岡市) 学校管理職マネジメントのプログラム開発の視察研修
- 27日 (市内) 事務所にて用務
- 28日 (市内) 暑気払いの会に参加
- 29日 (市内) 町会お祭りに参加
- 30日 (市内) ソフトボール大会開会式に出席
- 31日 (さいたま市) 浦和競馬組合視察研修

9月（長月）

- 1日 (帯広市) 直接燃焼型バイオマス発電システム事例の視察研修
- 2日 (帯広市) 帯広の森と街を造るグリーンプランの視察研修
- 3日 (釧路市) 釧路湿原における野生生物保護の視察研修
- 4日 (幸手市) 地域包括ケアシステム幸手モデルの視察研修
- 5日 (市内) ジョイフルスローピッチ開会式に出席
- 7日 (市内) 事務所にて用務
- 8日 (県議会) 会派控室にて市民相談
- 10日 (県庁) 上田知事と面談
- 11日 (県庁) 台風18号等被害に対する緊急要望書を提出
- 12日 (市内) 市敬老会に出席
- 13日 (市内) 戸田交響楽団40周年記念式典に出席
- 14日 (常総市) 被災地ボランティアに参加
- 15日 (さいたま市) クラーク記念国際高等学校に視察研修
- 16日 (さいたま市) 動物愛護ふれあいセンターに視察研修
- 17日 (県議会) 議会運営委員会に出席
- 18日 (市内) 事務所にて用務
- 19日 (市内) 中学校体育祭に出席
- 20日 (市内) 美女木八幡神社里神楽に出席
- 24日 (県議会) 本会議9月定例会開会
- 25日 (市内) 訪問市民相談
- 26日 (県議会) 笹目川現場披露式に出席
- 28日 (県議会) 交通政策関連の打ち合わせ
- 29日 (県議会) 会派控室にて市民相談
- 30日 (県議会) 本会議一般質問

政務活動費の報告（公開）

平成26年度中に交付された私の政務活動費の収支を報告いたします。(5,805,000円支給)

政務活動費は公費として県議会事務局で厳正に使用を確認されます。上記以外にも、例えばスタッフ人件費や事務所家賃などは「按分」により一部自己負担するルールとなっており、その財源は賜りましたカンパと自費から充当しております。

分類	項目	支出額(円)
基本給	調査研究費	41,722
	グループ活動費	0
報償費	旅費	0
	業務・雑費等活動費	0
経費	旅費	2,622,868
	人件費	2,216,442
	事務所費	1,076,064
	事務費	181,446
雑費	資料購入費・作成費	48,534
	交通費	0
合計		6,187,076

編集後記

埼玉県が発行している育児初心者の方への父親向け冊子「イクメンの素」をご存知でしょうか？「育児には参加したい。でも何をどうすればいいのかわからない」そんな育児初心者の方の父親を応援するために、県庁の育児中の父親たちがプロジェクトチームを結成して、誰にでも取り組める育児のヒントを集めて冊子にしたものです。(県のHPからDLも可能)



私もこの冊子を読んで目からウロコ、と同時に修行の足りなさを実感しました。新米パパはぜひお手にとってご覧ください。

世帯の核家族化が進み、共働きが当たり前となった今、男性全体の育児スキル向上が求められていると思います。私も気負わずに楽しみながら、育児に関わっていきたくです。

まじめな政治活動のためのカンパのお願い

しがらみのない無所属で活動する菅原文仁の政治姿勢にご理解を頂ける個人の皆様からのカンパを募集しております。賜りましたカンパは真面目な政治活動のために大切に活用させていただきます。カンパをお寄せくださいました際は、お手数ですが①お名前、②ご住所、③電話番号、④金額を、当事務所までご一報ください。(外国の方からの寄付は受けられません。) 振込口座:ゆうちょ銀行 口座番号:00180-1-782048 (他の金融機関からの振込) 店番019 店名〇一九店 口座番号:0782048 「すがわら文仁サポーターズ」